京城日報
四月七日（水）
夕刊
編輯兼發行人 印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

秩父宮兩殿下

豪雨の中紐育へ御着

御宿舍ホテル・ピエルへ

【ニューヨーク六日同盟】アメリカ大陸横斷御旅程最後の日折惡しくニューヨークは朝來篠つく豪雨である、奉迎の在留同胞約二百名は早朝からペンシルバニヤ停車場につめかけピショ〳〵になつて

お召列車の御到着を今や遲しとお待ち申上ぐる午前七時過ぎ、お召列車は暴風雨のため約一時間遲延すとの報道が驛長からホームに傳へられ齋藤大使を初め奉迎の人々の顏には焦慮の色が漂ふ、お待ち申上ぐると時餘、お召列車は午前九時十一分、風雨を衝いてペンシルバニヤ停車場地下線プラットホームにベルを鳴らしながら進行して來た、邦人學童卅餘名はホームに集り手に〳〵

日米兩國旗を打振りつゝ熱誠こめて萬歲を三唱、兩殿下を御出迎へ申上げた、齋藤大使、若杉總領事、井上領事、ニューヨーク市長ガーリイア氏其他日米兩國官民一同御待申上げてゐる中を兩殿下には列車を降り立たせられ御待標を賜はりつゝウォーク驛長の御先導にて一旦驛內貴賓室に入らせられ御少憩後、エレベーターに召されて大ホールに出でさせられ奉迎の日米兩國官民に謁を賜ひ、兩殿下には映畫カメラの前に立たせられて後同九時二十分、

御召車に召され御宿舍ホテル・ピエルに向はせられ同九時三十七分御到着遊ばされた

摩天樓から市街を御俯瞰

【ニューヨーク六日發】秩父宮同妃兩殿下にはホテル・ピエルに御到着、御旅裝を解かせられたが御疲れの御色もあらせられず

御服裝を改めさせられた後六日午前十時十分三階三號室において齋藤大使、若杉總領事、本間少將など御同席の下に日本人記者六名、外國新聞通信記者廿名を御引見十二分間に亘り御質問に御應答遊ばされた、會見を終へさせられた秩父宮同妃兩殿下には午前十時五十分自動車にてホテル御發同十一時五分エンパイヤ・ステート・ビルヂングに御成り遊ばされ直ちに屋上百二階の世界最高の摩天樓から世界的大都市を御俯瞰、妃殿下には御懷かし氣に殿下を顧みさせられ種々

御物語り遊ばされた、兩殿下には午前十一時五十五分同所御發、午後零時十分ホテルに御歸還遊ばされた（寫眞はエンパイアビル）

選擧戰　すでに一週間

立候補四百二十

やうやく高潮し來る

【東京電話】政戰第七日、七日午後零時半現在の候補者總數は四百二十名で前回總選擧において七日目の正午早くも

六百名を突破した盛況に比すると依然出足捗々しくないが午後には定數四百六十六名を突破するものと見られ言論文書戰を交へ總選擧氣分は漸く橫溢して來た、政戰開始以來自重に自重を重ねて來た政友會も同日午後第一回公認候補を發表し

同時に選擧スローガンを決定することになつてゐる、民政黨も第三次詮衡を完了し同時にスローガンを發表することになつた

林內閣の具體的政策を協議

【東京電話】政府は總選擧に臨むに際し獨自の政綱政策を決定すべく各廳省より資料を持寄り大橋內閣書記官長の手許で整理中であつたが漸く各省の政策が出揃つたので、七日午後一時から開かれる臨時閣議に附議し先づ大橋書記官長から各省の資料を閣僚に配付し各省政策の緩急輕重に應じ愼重檢討を加へたのち九日午前の定例閣議で新政策項目を決定して之を廣く中外に聲明する筈である、而して目下書記官長の手許に集まつてゐる政策中には廣田內閣當時七大國策項目として決定された義務教育年限延長案及電力統制強化案も幾分改訂されて提出されてゐる

政友會

言論文書に全力

三大都市で演說會

【東京電話】政友會は六日午後八時芝三緣亭に第二回選擧委員會を開き金光委員長出席、安藤幹事長より解散後本日までの各地の實情並に各地方支部の申出を報告し各委員より地方長官會議における林首相の訓示並に政府の態度に對して之を非難し次いで選擧對策に關し愼重協議の結果

一、全國民に非立憲、沒事理の解散の眞意を理知せしめ大いに立憲政治の本義を昂揚すると共に眞の強力政治の何物たるかを理解せしめること
一、各地支部を督勵して嚴正選擧の實をあげることに努め專ら言論文書に全力を注ぐこと
一、候補者の公認は嚴選主義によること
一、選擧スローガン（宣言書）は總務會並に幹部會の議を經て七日中に發表すること
一、東京、大阪、名古屋の三大都市において本部主催の大演說會を開くこと
一、一兩日中に遊說計畫を決定すること
一、第一回公認は七日午後發表のこと

立候補各派別（七日午後一時現在）

【東京電話】七日午後一時現在立候補者各派別數左の如し

民政	一五〇	政友	一一三
昭和	二一	社大	四九
國同	一二	東方	一一
諸派	二五	中立	四二
合計	四二三		

▲七日屆出　三　▲立候補辭退　二

壯快・雪の金剛縱走＝彩霞峰にて＝（四日・鐵道局飯山氏撮影）

藏相、首相と會談

【東京電話】七日朝歸京した結城藏相は同日午前十一時五分首相官邸に林首相を訪問、關西財界人と會談したる顛末を報告、更に首相より藏相留守中の中央の政情に關する說明を聞き當面の問題につき種々意見の交換を行つた

大野政務總監十二日頃歸城

目下東上中の大野政務總監は中央當局との事務打合せも一段落を告げたので八日頃東京を出發し途中大阪に立寄り財界有力者と懇談を遂げ十二日頃歸任の事（大龍四、五十名）

一、選擧委員は連日本部に參集のこと

一、最後に本部より至急全國各支部に向つて選擧廓正を期すべしとの注意勵を發することとし同十一時過ぎ散會した

英佛の要請應諾

白國政府閣議で決定

【ブラッセル六日同盟】ベルギー政府は六日夜緊急閣議を開催、經濟的世界平和再建案につき協議したが席頭、ヴァン・ゼーランド首相は英佛兩國政府の提案につき次の如く述べた

英佛兩國政府は經濟的工作で國際政局を打開したい方針で先づ現在の通商上の障害に關する調査、第二に關稅制撤廢方策如何を研究するやう要請した、ベルギー政府としても刻下の國際政局に對處して英佛兩國政府の要請に應諾したい

右に關し各閣僚もヴァン・ゼーランド首相の意向に全幅の支持を表明『通商障害に關する調査は刻下の情勢において最も機宜を得てゐる』との見地の下に全閣一致英佛兩國政府の要請を應諾すると共に決定して國務會議後ベルギー政府當局はその發表に曰く

ヴァン・ゼーランド首相は國務會議席上英佛兩國政府の要請につき報告、右任務に當る決意を告げその具體案を協議したが通商上の障害に關する調査は即時開始されよう

兩界では以上の大公使に武者小路大使を交へヨーロッパの政局について意見の交換を行ふのではないかと見てゐる

總選擧費支出發表

【東京電話】政府は總選擧經費を第二豫備金より支出することに決し勅裁を經て七日官報を以て發表した（單位千圓）

內務省所管＝衆議院議員總選擧經費並に選擧肅正及び地方自治振興二二五〇
司法省所管＝衆議院議員總選擧檢察費六二二

師團長會議

けふ第二日

【東京電話】師團長會議第二日は七日午前九時閑院參謀總長宮殿下御臨席のもとに參謀本部に開會、西尾參謀次長、小磯朝鮮軍司令官、岡村第二師團長以下各師團長、留守司令官、參謀本部より今井次長、石原第一、渡第二、塚田第三各部長出席、杉村第四部長が師團長に動員計畫に關する統帥事項に關し閑院參謀總長宮殿下より御訓示を賜り今井次長の口演あつて懇談に移り石原第一、渡第二部長その他より所管事項に關する說明あり午後懇談を爲げ、同三時會議第二日を終了した

滿洲國張總理

廿二日入城

新興北鮮を經由して

南總督の鮮滿一如の大政策に對しては滿洲國側でも共鳴して鮮滿の産業經濟の一元化に乘出すことゝなり、眞の朝鮮を觀るべく滿洲國總理張景惠氏は自らその實を衆に示すべく圖們經由、新興北鮮を巡つて廿二日入城南總督と會見、鮮滿一如の具體的意見の交換をなすことゝなつた、こゝに鮮滿兩巨頭の握手によつて益々接近することなつたが新京駐在服部本府事務官はこれが打合せのため七日朝入城し相川外事課長を中心に日程その他に就いて打合せをなすと共に諸般の準備を進めてゐる、なほこれと同時に滿洲國の事情を半島一般に認識して貰ふため京城において滿洲事情展覽會を開き滿洲に對する理解を一層深めることになりこれが準備を進めてゐる

專賣局長會議

けふ本府に開かる

專賣局では新年度の事務執行に圓滑を期すべく揀居局長統裁で七日午前九時半から本府第二會議室で地方專賣局長會議を開いた、南總督から訓示があり、滿洲國から財政部山梨總務科長、內地專賣局から森尾監督課長、台灣から小川支局長がオブザーヴァとして出席を見、內鮮滿台一如の劃期的な意見交換を行つたが、會議の成果は大いに期待されてゐる

共産軍を再編成し

蔣氏、軍費を支給

容共政策をわが出先注目

【上海七日同盟】西安事件後の共産軍に對する蔣介石氏の態度如何は極めて注目されてゐたが依然某方面の消息によれば蔣介石氏と共産軍との間には具體的妥協成立し蔣氏は共産軍を六ケ師に再編成し毎月五十萬元の軍費を支給するに決し既にその駐防地を指令したと傳へられる、右は西安事件の善後處理として蔣氏が已むなく承認した條件であるとしても蔣介石氏は國民黨と共産黨を同時に擁護せざるを得ない立場にあることは明瞭で是は國民政府が再び容共政策を現實に實施したものとして我が出先當局では今後の動向に深い關心を擁つてゐる（寫眞は蔣氏）

わが駐歐大公使續々伯林に參集

【ベルリン六日同盟】ブラッセル駐劄大使來栖三郞氏、プラーハ駐劄公使藤井啓之助氏、ウイン駐劄公使谷正之氏は三日相次いでベルリンに到着、更に四日午後モスコー駐劄大使重光葵氏もモスコーより到着した、大使館當局では大公使の來訪は全く私的性質に過ぎないと言明してゐるがベルリン外交

早くも立候補

京城道議改選

來る五月十日行はれる京畿道會議員の選擧は五日立候補の告知があつたが早くも翌六日漣川郡尹元赫氏（…）が立候補のトップを切つた

都市計畫施行のため各道に技手

朝鮮市街地計畫令の施行によつて朝鮮各都市は將來の近代都市としての指針を得て既に京城府を初め全鮮各府は計畫通りに着手してゐるが本府營繕局はこれが取締のため各道に一名乃至二名の技手計十六名を配置し京畿道に技師一名を置くことに決定近く發表の筈

人

◇服部伊勢松氏（外事課事務官新京駐在員）事務打合せのため七日朝入城、朝鮮ホテルへ
◇公森太郎氏（鮮銀副總裁）四月中旬入城の豫定
◇野口遵氏（朝窒社長）十一日〝あかつき〟で入城
◇佐藤鐵道局營業課長　六日安東へ九日歸城のはず
◇孫全北知事　七日入城朝鮮ホテルへ

天地玄黃

半島工業用水の第一次調査、成績極めて良好とは欣快、二次も三次も大馬力でやつて欲しい
×
虫のいゝ言分かも知れぬが、この調査本當のことを云へば今頃全部的に完成してみて貰ひたい
×
新學期に恒例の如く小學校敎科書が間に合はないのは殘念に堪へぬ。一年一度の配給、前から判つてゐること、しつかりやらんことには蹴得の上にも面白くなし
×
乳幼兒愛護週間、桃太郞熊の高潮するだけでも意義深し
×
『東亞民族の黎明』はそのことをはつきり表現するだけで日支親善映畫となる。殊更に日支親善など銘を打つて、味噌を出すやうなことなきやう
×
國際經濟會議どうやら物になりさう、列國の經濟關係、資源關係の相互檢討が深化されるだけでも一大收穫
×
飛ぶ飛ぶ神風號、その勢ひでロンドンまで―成功を祈つて已まぬ、同胞諸君、お互ひに祈願しませう

夕刊六頁　朝刊八頁

曉星雙紙（24）

田中貢太郞作
河野通勢畫

女妖（十五）

『おう、獲つたか、捕まへたか、お部屋樣がお喜びになる』
髮を落として、
『おまへさんは、お部屋樣が御執心だ、お部屋樣の御機嫌がきつとなほる、なほつたら、もう何も云つてはいけねえぜ』
諦之丞はその返事の代のやうに鯉を了辨の前へ投げた。鯉は了辨の脚下でぴんぴんと跳ねた。
『ほい、これは、色けしちやねえか、そんな事をするから、お部屋樣の御機嫌をそこねらあ、だめだぜ』
了辨はやつとこさと鯉の尻尾を摑んで往きかけて諦之丞を見た。
『も一つ獲りなよ、お部屋樣の御機嫌が頁面に應るから』
了辨は鯉を持つて緣側の方へ往つた。緣側の隅では、まだ酒を飲んでゐる聲があつた。
『行けえなあ』
『鍋煮にしたら、こたへられねえや』
『やつぱり手の利いた者は違つてるな』
『だからよ、お情がかゝると云ふものだ』
そして、ひ、ひ、ひ、と卑しい笑聲を出した者があつた。了辨は緣側をあがつて阿藏の前へ往つた。阿藏は一方の手を龍藏に絡めて一方の手で酒を飲んでゐた。了辨は土浦の後へ往つた。前には土浦がゐた。
『お部屋樣、鯉が獲れました』
阿藏は龍藏もちまで龍藏に絡みついてゐた。
『こひがとれた、態に上下の距なし、何人が鯉を執りやつた』
了辨は返事に困つた。土浦が說明しなくてはならぬ。
『池の鯉でござります』了辨を見て、『それ、その鯉を御前に入れるがよい』
阿藏は了辨の差し出した鯉が眼に注いた。
『なるほど鯉ぢや、鯉を何人が獲りやつた』
了辨が返事をしなくてはならぬ。
『彼のお侍さんでござります』
『彼の諦之丞が獲りやつたか』
『獲りました、やつぱりお侍さんは、坊主なんかとは違つてをります』
『お坊さんは檀家の婆さんの、膝を抱きあげる事しかできぬ』
『さやうでござります、殊勝な事はやつてをりませんから』
『それでも、お坊さんも、やつぱり人間ぢや、人間は女子が欲しいし、女子は男が欲しい』
土浦が氣を利かした。
『お部屋樣、鯉は吉兆のよい魚でございます、生魚料にいたしませうか』
『それがよい、生魚料にして來やれ』
『承知いたしました』
了辨が出て往くと、阿藏は龍藏にやつた手に力を入れた。阿藏は龍藏にもたれかゝつたやうにその顏を龍藏に近づけて、白い顏を覗きこんだ。龍藏は白い顏を靜くはてらしてゐた。
『何といふ、可愛い男ぢや、そもそもわしのお守で、顏たであらう、それから醜を、もそりとやつて』
『それでは、わしの室へ往から』
阿藏は起ちかけたので龍藏も急いで起つた。阿藏は龍藏の頸に自分の頸を持つて往つた。
『何と云ふ可愛い男であらうの』
龍藏は呼吸が苦しかつた。
『う、う』
『うとは、苦しいか』
『く、くるしいのです』
『それでは、苦しうないやうにしてとらせる』
阿藏はよたよたと歩いた。龍藏は阿藏を支へて往つた。二人は次の室との境へ往つた。境の襖は開いた彼の阿藏に緣端を着せたお米が兩手をついてゐた。次の室には紅い行燈の火がとろりと燃えて、艶かしい夜具が屛風の端から見えてゐた。その屛風には大和繪らしい朱と群靑の目立つ繪巻の斷面のやうな繪が見えてゐた。

南鮮合電の總會に 闘將を送り込む
あくまで本社誘致を期す 釜山の期成會秘かに對策

【釜山】南鮮合同電氣會社の本社[illegible]が京城に決定して以來[illegible]釜山の本社[illegible]期成會では四月十日東京で開催される株主總會に當り東京で臨時總會に對策を練つ[illegible]てゐたが今日の總會には[illegible]の諸氏が出席し飽くまで[illegible]總會に大波瀾を來たすものとみられてゐる

積極的行動は不利
府民間にも是非の論對立し 總會の成行き重視

東京で開催の南鮮合電總會に釜山から出席する株主が本社誘致問題に關し合電會社自身の立場から體面をあたへた策戰をもつて強硬なる反對意見を主張することは一部府民の有力者間に是非の論が多く甲論乙駁の形勢である、反對意見としては

一、合電本社が既に今後二ヶ年の期間をもつて暫定的にもせよ京城に決定したこと

二、持株數で釜山の實勢力が劣位を有すること

三、六會社合同の準備委員會で決定した案を尊重せぬ場合における結果

等をあげ策戰の如何は少數株主の主張として論議されるに止まり釜山今後の立場を不利に導く結果を豫想される向きで十日の株主總會の成行きは目下府民の重大關心事と化してゐる

刑事を裝ひ 旅館を臨檢
お客の現金を奪ひ 散々に手古摺らす

【平壤】窃盗前科三犯の臨檢刑事就職――五日午後十一時頃府内南町二〇平壤旅館に平壤署の刑事と稱する男が現れ宿泊簿を調べた上、止宿中の咸南北青郡俗厚面西湖里漁業館昌譲さん(三八)を呼び出し〝お前のもつてゐる金に不審がある〟と同人の七十七圓十五錢入りの蟇口を自分のポケットに納め〝なほ取調べの筋があるから本署迄同行しろ〟と連れ出し府内旭町方面を向けて立去るのを客引きが不審に思つて本町派出所に申告し立番中の野上、鶴田兩巡査が直に旭町蓮頭寺裏通りを警戒してゐると刑事と稱した男が館昌譲さんと共に現れたので取押へんとするや件の男は脱兎の如く高さ一米餘りの塀を飛び越え蓮頭寺境内へ逃げ込んだので兩巡査もこれにつゞいたが遂に見失つてしまつた、兩巡査は折角の大物を逃がしあきらめがつかず附近を引きつゞき捜査中同町中野眼科醫院から〝只今富豪の息子と稱する男が不良者連に毆打され顔面に傷をうけたと治療を受けた後二包に分けた百五十三圓十五錢を明日まで預つて呉れと預け病院の入口に待たせ府内本町東陽旅館まで送つて呉れといふので送つてやつた〟との言葉を聞いた兩巡査は雀躍りして東陽旅館に驅けつけ止宿人を調べると件の男と符合するものが止宿してゐるが外出してゐるので同人の部屋で同人の歸りを待つこと十時間餘り翌六日午前十時頃漸く歸つて來たので取押へんとするや再び逃げるので兩巡査も必死で追跡し府内將別里公設宿泊所裏の袋路に逃げ込んだのを漸く逮捕した、右は海州郡海雲面温泉里大工白雲龍(二七)といひ窃盗二犯で三年、强盗で三年喰ひ昨年末海州刑務所を出所したばかりの強者で餘罪多數ある見込みで目下嚴重取調べ中

辻强盗
少年を襲ひ 食刀で斬る

【全州】六日午前一時頃完州郡鳳東面長久里金滉瑄(二〇)が山中を通行中辻强盗現れ小刀を突き付けて脅しつけたので格鬪となり頬を斬られて逃げ歸り鳳東駐在所に申告急報に依り前田司法主任以下驅けつけ非常線を張つて搜査中僅か十時間にして眞犯人同面堤内里沈東燮(二〇)を逮捕した、犯人は賭博

[illegible]精密の美男の遊び人である、この日午前三時頃府内法院通りを巡回中の町村巡査が短刀をかし持つた假管生金福同(二七)なる不審男を逮捕し取調べ中

美人の溺死體
漁船が發見

【興南】去る一日西湖津小峴島附近に出漁中の漁船が婦人の溺死體を發見、二十歳前後の朝鮮美人で死後約十時間を經過してゐるがモダンな服裝から推定してカフェーか酒場等に働いてゐた者らしく駐在所で檢視したが遺書の投身で遺留品なく身許不明の儘、西湖面事務所で假埋葬した

坡州の火事
子供の弄火

【汶山】去る三日坡州郡臨津面沙器里一六八大工崔凡鍛方から出火同家を全燒した、原因は七歳になる崔の子供の弄火ひからで損害は約四百圓

恨みのポセツト沖
今更に知る蘇聯の暴虐ぶり 第五大英丸半年目に歸る

【淸津】昨年九月十一日ポセット沖合で拿捕され漁撈關係者を驚倒させた第五大英丸(五四トン)は去月卅一日雄基に歸航、四日午後五時淸津港に入港した、いち早く訪れた記者に對し船長鋼谷晡一氏(?)は語る

おかげで無事に歸ることが出來ました

航海日誌は 破れてしまつたのでお見せすることが出來ません、領海内であつたかどうかゞ問題ですがこれは結局水かけ論ですから今更何とも申されません、最初は軍事スペイだといふので船艙深く私達を押し込んでゲ・ペ・ウの手で船をポセツトへ曳航、十月の末まで同地の留置場へ放り込まれその後浦鹽へ汽船で送られ十一月廿七日遂に刑務所に收容されました、罪名は軍事密偵、密漁及び領海侵犯といふのでしたが私達には何もいはせないで遂に責任者である私と船主代理中尾辛平氏(?)=船主中尾彌太郎氏長男=小山富一郎氏(?)の三名が各々五百ルーブルの罰金を課せられ漁獲物は全部沒收と決まつて、船を返してくれることゝなつた、毎日黒パンの卑大のものを貰ふだけで、寒さにふるへてゐたので全部がゲッソリと痩せてしまひました、獄中には白系露人や朝鮮人等多數收容されて口を揃へて

蘇聯の暴虐 呪つてゐたが一行十三名は全く元氣を恢復して、皆朗かに笑つてナアに再擧を期してウンと儲けますよといつてゐる

なほ船主中尾彌太郎氏は

まあ皆が無事に歸つてくれた事が何よりです、大正十二年から漁業を始めましたが昨年は溺れ口で第二大英丸を破つてしまつたので直ぐ大阪に走り四萬二千圓を投じてこの船を造つたので随分立派に出來てゐる、息子はこの際外の船も皆沒り飛行機でも獻納しようかとも言つてゐますがこれで挫けては男が立たぬ捲土重來もう一度やつてみたいとおもふ、しかし關係當局に多大の御迷惑をかけて何とも申しわけありません

空から金が降る
飛行士も苦勞の出張旅費 最初の投下に成功

【平壤】天から金が降つた話――目下平壤航空隊に滿洲航空會社の五名社員が滯在中そのうちの二人分の出張旅費二百三圓の現金が航空便で本社から送つて來たが何となさけないことにそれは滿洲國幣であつたため使ふにも使はれず、思案の揚句奉天平壤間を飛んでゐる滿洲航空會社スーパー機の間島操縱士に依賴して新義州で交換して貰ふことになつたが、新義州飛行場は解氷後使用不能で空を素通りしてゐるので現金を空から新義州飛行場に投下して貰ふことになり、依頼された間島操縱士現金投下は初めてのことで躊躇して責任は持てないと言つてゐたが先方とも連絡が出來て五日午後四時新義州飛行場百米の上空から現金投下に成功し、無事着いたとの報に一同子供のやうに歡聲あげてはしやいだ、この航空路で空から金を降らしたとはこれが初めてのことでその滿洲國幣は旅費に組まれて新義州から郵送される譯

浮かれ女中
文なしで遊興

【興南】春に浮かれて飲み歩いた女中さん……去る二日興南邑天機里金鋼旅館に投宿した中年の婦人『自分は興南に商賣に來た者だ』と信用させ女だてらに飲み初め翌日も商賣に出ず一日中飲み過してゐるので旅館主が不審に思ひ六圓餘の酒代を請求すると急に顫動を鎭飲酒をしてまたも警察の厄介、色々調べてみた結果この女は天機里東豊飲食店の女中と判明、雇主に引渡した

大鎭南浦の建設
十五日期成會の發會式擧行 本格的の工作進む

【鎭南浦】大鎭南浦建設期成會では六日午後一時から役員會を開き宣傳パンフレット一萬枚印刷撒布のこと▲工場誘致材料として鎭南浦の素質を網羅せる印刷物一千枚を作り關係方面へ送付すること▲本月十五日迄に發會式を開くこと▲會員募集し會費最低一萬圓を集めること▲印刷物運動資金竝び次第速やかに實際運動に乘り出すことを決議したが期成會では過去の功勞者中村精七郎氏、富田儀作翁、西崎鶴太郎翁三氏に感謝狀の贈呈をすることになつたが富田翁の銅像は既に出來てゐることではあり中村氏の銅像は西崎氏がさきに自邸に引取つたのを譲りうけ適當の場所に建てることに決定した

遭難船漂流

【釜山】六日午前十一時すぎ釜山港外多大浦沖合半浬の海上に下關船籍の帆船が水船となつて漂流してゐるのを取締船智異山丸が發見したが遭難船には乘組員の姿がなく救助されたのか全部遭難したのか不明である

さくら笑ふ
光州の早咲き

【光州】いつも光州公園の櫻より一週間乃至十日早い道廳二階窓口の早咲きの櫻が今年も例年より約十日早く乙女の乳首にも似た蕾を麗らかな陽光を浴びて綻び初め、ムックリ顔のお役人さんと朝から晩までタイプライターのキーをたゝく彼女等に神秘のウインクを投げかけてゐる(寫眞はその花)

人の道教團 解散で衝動
釜山支部でも對策 當局は指令を待つ

【釜山】人の道教團釜山支部では本部解散の報に三百名の男女信徒は多大の衝動を受けたが道當局は本府からの正式指令を得るまで靜觀の態度で五日深更に及ぶまで對策を協議した支部幹部間でも今後の方針につき何等纏まつた意見に到達せず解散したが釜山支部は信徒からの寄附財産、不動産等合計約二萬五千圓の資産を有するので若し正式に當局からの解散命令に接した場合、財産を如何に處理するかゞ問題となつてゐる模樣である

罪な細君
狂言强盗で とんだ騷ぎ

【平壤】六日午前二時頃府内里門里九六布木商朴容圭方に二十五六歳前後の洋服を着込んだ二名の强盗が裏口から押し入り夫は外出して一人で寢てゐた妻劉貞順(二九)を脅し及渡り二寸餘りの短刀を突きつけて金品を强要し現金廿圓と價格三十圓の金指環をうばひ〝申告すると爲にならぬ〟と捨科白を殘し悠々と表から姿を消したとの急報に接した平壤署では時を移さず稲田司法主任が刑事を帶同現場に驅けつけたが賊侵入の形跡が見當らないので疑ひを抱き劉女を本署に連行嚴重取調べた結果何時も家を明けてばかりゐる放蕩の夫を脅かすために仕組んだ人騷がせの一幕と判明した

これも狂言
强盗騷ぎ二件

【釜山】飛んでもない與太を飛ばした罪らしい狂言强盗二件――[illegible]道水面本山里農場揚水場[illegible]士金元伯(二六)は去る四日午後十時頃醉拂つて歸宅する途中部落の山道で轉倒した際顔面その他に負傷したのを體面に恥じて强盗に襲はれ格鬪した爲め怪我をしたと觸れ廻り金海署に探知され嚴重な取調べをうけて一切が面白半分の嘘八百と判明更に咸安郡代山面下在里金某の妾朴振伊(?)は去る三日午前一時頃食刀を携へた持兇器强盗三十餘圓の金指環を强奪されたと所轄署へ屆出たが不審の點があるのを追究された結果近頃足が遠くなつた旦那を誘き寄せるため書き下ろした狂言とわかつて罰金十圓

また密航團
釜山郊外に勢揃ひ 五十餘名を取押ふ

【釜山】六日午前二時半頃釜山郊外赤崎半島の海岸に多數の密航朝鮮人が蝟集してゐる情報を得た釜山署では刑事總動員で現場に急行五十餘名を檢擧したが前科十一犯の密航ブローカー河比昌俊(?)が暗躍してゐる事實が判明し行方搜査中

惡い集金人
六百圓も横領

【咸興】府内中央府金組[illegible]は昭和十年二月頃から咸南道[illegible]部の集金人として雇はれてゐる中本年二月下旬までの間に辨當代六百四十二圓の集金を横領したことが發覺、目下咸興署に留置し嚴重取調べ中

少年二人家出

【咸興】利原郡南面興城里馬正燦(?)の弟[illegible](一七)と同里朱昌然の弟朱洛俊(一九)の兩少年は春風に浮かされ無一文で去る一日午前八時頃無斷家出、徒歩で四日咸興に來たが府内を彷徨中路頭に迷ひ遂に咸興署に救ひを求めて出た、同署では親元にその旨を傳へ一時保護中である

春といふのに 國境は大雪
惠山鎭奧地は一尺も積り 交通機關は大惱み

【惠山鎭】南鮮各地は花の便りに浮かれてゐるといふけふこの頃國境一帶は四日夜から五日朝にかけて又また大雪、惠山市内は五寸、奧地は尺餘の積雪をみたとさへ[illegible]、市内道路は半融の結氷から解けて滑所に自動車の立往生をみてゐる上にこの大雪で各交通機關は大惱みでこの狀態は五月中旬まで續くもので吉州[illegible]へ惠山行旅客が自動車通行狀態を知らぬため宿屋もない風頭里で數日滯在の憂き目をみるやうなことは非常に吉州驛と風頭里間の緊密な連絡が一般から要望されてゐる

いかだ流し
いよいよ切迫して 多數筏夫解氷待ち

【江界】アリナレ名物筏流し、今年は材木界もすばらしい前景氣で準備中の營林署直營筏夫、個人材筏夫何れも内地本場から續々到着してゐるが、内地と異なりまだ雪や氷に閉ざされてゐるので『今年はナカナカ恐いニャー』の述懐で解氷を待つてゐる、江界營林署の初筏式も多田林業、野上林業其他個人材木業者と合同で五月一日擧行に決定し諸準備を整へてゐる

全南辭令(五日付)

全南道産業技手 坂田熊久治 京畿道へ出向を命す

全南道社會主事 藤井時松

囑託(地方課) 趙江郁(?) 勞働調整に關する事務を囑託す

(各通)

衞生技手 二宮司 内務部學務課兼務を命す

社會教化事務を囑託す(學務課勤務) 姜又珍

(會計課) 隈田森樹(?) 全南道地方技手を命す(土木課勤務)

(會計課) 岩木陸亮 全南道地方書記を命す(會計課勤務)

(土木課) 道雇員 富安傻 全南道地方書記を命す(土木課勤務)

(土木管區) 中村和男 全南道地方書記を命す(光州土木管區勤務)

平南辭令(五日附)

(鎭南浦府廳) 宮村又敏 鎭南浦府庶務課長兼務を免ず

(中和郡廳) 兒玉宗二 鎭南浦府庶務課長を命ず

(平原郡廳) 伊藤武雄 中和郡内務係主任を命ず

(農務課道廳) 關谷開市 平原郡内務係主任を命ず

全北辭令(五日付)

山口縣立小郡農學校 敎諭 中村保

任朝鮮公立學校敎諭 補裡里農林學校敎諭

趣味と學藝

紙上博物館

石器時代

石器時代末期の特徴を表し精巧な石斧である出土地慶南昌原郡熊南面外洞里熊南小學校敷地にて一堅穴式石槨古墳なり（本府博物館所藏）

巴里郊外

藤田嗣治

藤田嗣治畫伯 洋畫個人展

◇…十七、八日、三中井で

二科會員藤田嗣治畫伯は來る十五日入城、朝鮮美術會主催の下に十七八の兩日三中井ギャラリーで洋畫作品約卅點を出陳して個人展覽會を開き、同時に作畫數を限つて作品頒布會を開くことになつた

同畫伯の來鮮は昭和四年第一回歸朝當時以來今回は八年振りのことで、京城の個展を了

文藝時評【四月】【三】

スタイルの美しさ

川上喜久子氏の"白路記"

伊藤整

◇……この月の文學作品は量においてかなりに賑やかである、雜誌『新潮』には、葉山嘉樹、太宰治、緒方隆士、檀山滿、井伏鱒二の諸氏が小說を書いてゐる。

そのうち葉山氏の『出發』といふのは、東京の生活に敗れた男が妻子をつれて信州の山の工事場へ働きに出かける途中の夜汽車の中のことを書いてゐる、文體はかなり散文詩風に突つぱなしたものであるが、やゝペシミスティックに歌つてゐるやうな處があり、しかもそのかげに一種の鋭い眼を光らせた作である、纏まつてはゐないし書きながした形もあるが、この作家に特有な詩情の豊かなものである。

◇……室生犀星氏は『日本評論』に『舌の宿』といふ作を書いてゐる。これは長篇の一部分を切りとつたやうな小說で、氏がこの頃よく書いてゐる變の人物、それを悪質といふよりは猥生式な雰圍氣のなかで創造されたやうな男性を幾人かならべ、その中に一人の女を配して現代の好色ものと言つた趣の作にしてゐる。

これはもう氏の仕事として殆んど完成したスタイルにまでなつてしまつてゐるが、たゞ次第に氏が女をでなく、男を描かうとしてゐることに注意された。しかし氏の刑り出すこれ等の男は、その脂つこさにも拘らず、氏の描いた幾人かの女の型にどの魅力はないやうである。

◇……『文藝』に移つて、先づ久板榮二郎氏の『北東の風』といふ長篇戲曲を讀んだ。武原山治氏らしい實業家を描きその家族や表面理想經營法が、時代風潮のために次第に破れてゆく過程を熟達した筆でぐんぐん書いたものである、實業界の事情や政治家の内幕等も相當に調べて書いてあり正に

力作と稱して差支へなからう讀んでゆく上には讀みごたへのあるものだが上演しての効果はそれだけに危ぶまれもする。

◇……同じ雜誌に川上喜久子氏が朝鮮の往時に材をとつた『白路記』といふ詩的な作品を書いてゐる。川上氏は近時の女流新人として最も注目されてゐる人である。思想的に人生問題を扱はうとする意圖のある作品もいゝが北點はやゝ晦澁で解しがたい。だがスタイルの美しさはちよつと類のないものであつた。

なほ湯淺克衛氏の『冠婚葬祭』といふのは純眞な美しい戀愛小說と言ふべきものである。汚れのない、のびのびとした作風はこの作品を卑俗に陷さしめず張りのある佳作としてゐる。

懸賞募集

交通道徳宣傳 ポスター・標語

▽…京城交通安全協會では次の規定により交通道徳宣傳の標語とポスターを懸賞募集してゐるが、一般の投稿を歡迎してゐる

◇ポスター　三色刷以内、縦二尺五寸横二尺以内▲賞金一等百圓　二等四十圓、三等十圓（各一人宛）

◇標語　都々逸、川柳にても可▲賞金一等十圓二人、二等五圓三人宛名は何れも京畿道保安課内京城交通安全協會、締切り四月十七日

近代的な"香"の科學

景色を聯想させる香水

北緯五十度・ノルマンヂーなど

……花を思ひ出させる香は時代遲れ

理學博士　竹内時男

入れた香水も賣出されてゐる、北緯五十度と名のついた香水もすでに出てゐる、北緯五十度はパリの緯度である

しかしこれは外形のことで、香を嗅いで景色を思ひ浮ばすには、多くの苦心が要らう

香水は何といつてもフランスが第一流の製造者である、そのフランスの香料家が今新しい流行に邁進してゐる、それは

花を思ひ……出させる香は近代的趣味に合致せぬといふのである、景色や場面を思ひ出させるものに注意を向けてゐる、森や花園、雨にぬれた田園を頭に喚び起すやうな新香料を造らうといふのである

ノルマンヂーと名の附いた、そしてこの巨船に象つた瓶の中に

香の科學

は質の所まだ發達して居らぬ、日本でもこの研究を研めた人があつたが中途にして止んでゐる、しかし近頃、分光學でいふラマン効果といふ新しい現象を調べて、香料の科學を打ち建てようと努めてゐる人が外國に現れた

嗅覺と視覺、聽覺との間には面白い類似があるものである、人間は黄の光には青の光よりも鋭敏に感ずる

それと同じやうに、惡臭よりもジアスミンの香にはよく感ずるので

ある、これは香料の配合に重大役割を持つ事柄である、また二つの香が互ひに干渉して、香を失ふか又は

成分の香

と全く別な感じを起すことがある、或は又強い一種の香に當ると、嗅覺の疲れを來すことなども、他の感覺と類似點である

物質に似た物質が似た香を持つとも香の振動數（調子）なるものお蓮ふことから說明される、色い場合にもやつぱりそんなことが

あるので、同じ色でも組成が全く違ふことがある、香の感覺は、分子の内部の振動數によるものであり、これから研究して掛らなければ、香の形式を科學的に定めることは出來ないであらう

【寫眞はいま流行の新型香水瓶いろ／＼】

就職行進曲

シナリオ【一六】

⑧天谷健二

運轉臺の兄弟
東京の郊外
舗裝道路を滑らかに疾走しつゝある一臺の貨物自動車
河野幸市君が助手臺に

ハンドルを握つてゐるのは、その兄である。

二人の會話

『幸市、からして日曜每にお前を助手臺に乘せて稼ぎに出る、兄さんの氣持もお前は分つて吳れるだらうね、

立派な大學を出た人でさへ、仕事がなくて遊んでゐる、この頃だ、今どき、たかが小學校くらゐ卒業したからとて一體どんな仕事がお前たちを待つてゐて吳れると思ふの？

それに引きかへこの商賣はどうだ、

これからは自動車の時代、運轉手に失業はない。兄さんの言ふことさへ聽いて居ればキット樂に暮らせるのだ、

それでも、お前はこの仕事が厭なのかネ』

『兄さん、僕――僕が嫌いから所謂運轉手にはなれないと思ふのです』

『そんなことはないヨ、誰でも始めは、隨分危險な神經を使ふ仕事のやうに考へるが、慣れて了へば何んでもありやしない。

俺に言はせれば、こんな吞氣な稼業はない、

毎日ブルヂョアにでもなつた氣持でさドライブして、全く愉快なものぢやないか、なあ幸市――

それに運轉手の免狀さへ有つて居ればどこへ雇はれても相當なお給金が貰へるし、兄さんのやうに自分で働けばもつといゝ收入になる

自分の職業を褒めるやうだがこんな有利な職業は他にさう澤山あらうとは思はれぬ。

釣り

一般の投稿歡迎、本社學藝部釣欄係宛

▼奉日川　京城から新義州街道を進んで奉日川部落に這入る手前に沿ふた池、所謂貢陵前のまだ深くが生えず今が一番釣り

『どんな旱天にも涸れず、深さ網も這入つた事はないから中心には大物がウンと潜んでゐる事は確かで問題は獲物を近くのふのにある』と同部落の小學校の先生も話つてゐた、何分深いウキ下は岸に近い所で六尺位の竿に出せば八九尺といふ池の傍の街道を盛んに自動車が通るので魚は自然深みに潜むらしく、この池で釣るには丈の竿より二間半位が適當で三日の祭日には十二三人の釣師が頑張つてゐた、鮒は何れも五寸から七八寸の型のいゝのを相當釣り上げてゐた、マキエをした人が成功したやうだつた、釣り場は土堤下の杭のあたりが宜しい、それから街道橋下は、釣り場としてはケチな處だが右の池が思はしくない時はこゝに竿を入れるのも一興である、四寸位の鮒が無條件に喰みつくし三寸位に大きくなつたモロコが澤山ゐる、普通學校裏の池は相當ゐるそうだがモロコが多いので餘り感服出來なかつた、奉日川ホソはハヤと小鮒の釣り場

▼陵谷　四日の休みを本流からホソへ流つたが成績は極めて不良天候の關係かもしれぬが（竿直）

不連續線

滿員列車

汽車はほとんど滿員だつた。

それだのに、各驛々々から乘込む客が多く、車掌は一生懸命に整理しなければならなかつた。

『この列車は滿員ですから、次ぎの臨時に乘つて下さいませんか』

無論、一度乘つた客は、容易に降りようとしなかつた。

『でもね。僕は立つてゝもいゝけど、この老人だけは、どこかへ割込ませて貰へないか知ら』

さういつて、よぼ／＼の老婆を抱へてゐる紳士があつた。

『さうですね。しかし、何しろ、この通りですからね』

車掌は、さうは口に出したが、一人でも、子供づれの客の席でも、一應位は詰合せてくれまいかと、車内を見まはした。

『年頃の娘さんか何かなら、僕は窮屈でもいゝし、立つてゝもいゝが、あんな婆さんおやあね』

私の隣の中年紳士が、連れらしい男に呟いた。

『ふむ』

連れの男も笑つて頷いた。

私は、その老婆を氣の毒だと思つた。しかし、私の隣の紳士の言葉にも、ある同感が持てた。

汽車は動き出したが、老婆には席がなかつた。もう、誰も知らぬ顏の半兵衞で、何處へ行つたか、車掌の姿も見えなかつた。

銀幕春秋

千葉早智子と入江たか子と高田稔

PCLで千葉早智子と入江たか子と高田稔が共演と聞いたとき は、何だか家付娘の千葉が可哀想だつた、この外來の入江と高田とでは人氣の點において比重がとれず、芝居がしにくからうと思つたところが、出來たものを見ると、入江は千葉に助けられてゐる形だし、高田は新派俳優としての大根ぶりをクローズ・アップされた有樣である考へてみれば、入江にしろ高田にしろ、獨立プロの親方として手ばなしの英雄になりすぎてゐたのである、イージー・ゴーイングでありすぎたのである、そこへ行くと千葉はPCLの生えぬきとして、ともかくも成龍その他に鍛へられて來た、この兩者の立場の相違が、この作品『良人の貞操』においてハッキリと映し出されたのではないか、高田のシンコクな表情や台詞は全く見てはゐられないし、入江も時々わけのわからない表情で、その樂貌をうつろにしてゐる、『坊ちやん』でよい腕を見せた監督山本嘉次郎も、かうした吉屋信子の家庭小說など扱へる人ではなかつた、といつて成瀨巳喜男の細い針ではこの原地は縫へさうもないし、木村莊十二では飛んでもないものを作りさうだし結局PCLにはかうしたものゝ監督適任者はゐないことになる【もん太】

創作人形同好會展

◇日時　四月二十三、四、五の三日間

◇場所　京城日報社來青閣

◇出品申込　四月十八日迄に京城本町二丁目岡本手藝店同本町四丁目まる榮呉服店、同明治町二丁目セール手藝材料店へ

◇種目、點數　別に制限は無いが、風紀公安を紊さず、出品者自身の製作になるものに限る

◇推賞　同好會員において適當の方法により佳作を推賞す

主催　京城創作人形同好會

後援　京城日報社學藝部

新刊紹介

顧問新詞藻辭典

加藤武雄　水守龜之助編

本書は文章を作らうとする人、或は文學に精進しようとする人の爲に、文題又は構成に必要な語彙を五十音表音順に配列し、これに類語作例を附して、模範的資料を供給しようと試みたもの、類語作例とともに豐富であり而もそれらを抽出し易く推列してあるのも特徴であらう、印刷も鮮明である（二圓五十錢、東京市神田區神保町一、三弘社）

▲朝鮮藥業會誌（三月號）一圓、京城府南米倉町四、朝鮮藥業會

▲朝鮮農會報（四月號）卅五錢、京城府黃金町二丁目、朝鮮農會

▲京城雜筆（四月號）四十五錢、京城府御成町一五四、京城雜筆社

▲農業と經濟（四月號）四十錢、東京市赤坂區一ッ木町、西ヶ原刊行會、農業と經濟社

▲日本及日本人（四月號）五十錢東京市神田區猿樂町二丁目、政教社

今晩のラヂオ

六時連續童話劇（平）平壤子供會の會員の鉛筆▲六時二五分但馬講演（仙）▲七時二〇分講演（東）大阪次官會議所宜▲八時謠曲（東）梅若萬三郎外▲八時三五分浪花節（東）木村友信▲九時三分長唄（大）吉住小三郎外

くめの平内（13）

小金井蘆洲 演　福田勇 畫

皆傳候補（二）

目附役人に從つてゐる内科醫と外科醫の二人の醫者によつて、金彌は直ちに應急手當を受け、やがて正氣に返つた。

醫者の診斷によると、傷は總て急所を除けてゐるといふ話だつた。

金彌の身を案じた觀衆は、駕を取卷いて心配さうな顔をしてゐたが、それを聞くと安心して歸つて行つた。

兎も角一時平内の宅へ、金彌を引取らうといふことになり、仙台侯からも特別の依頼があつて、駕籠に乘せて靜かに麹町の道場へ運ばれて歸つた。

武藤金彌は父の敵を首尾よく討つたといふ喜びで、兩三日充分な療養を加へると、眼に見えて快方に向つて行つた。

『金彌、もう傷所も痛みはすまい』

『はい、お蔭でもう大分樂になりました、傷所とても御覧の通り膿も持たず、痛みも大いに去りましてございます』

『あゝそれはよかつた。いや今度の働きについては實に、某も感服いたした。門人は多くあるが我が一流を皆傳いたすべき者は、其方の外にはあるまいと思ふのぢや。そこで其方に相談いたしたいと考へたのは、傷全快の上は今一段と修業をいたして見てはどうだ。勿論仙台太守の思召もあらうけれど、直ちに歸參いたし御用を勤むる身になつては、何分にも充分の修業を勤むことは出來ないと思ふのぢや』

長兵衛も側から口を出して、

『それやア先生の仰しやる通りだ。金彌さんこれはわつちからもお勸めいたします。今度の働きぶりと來た日にやア、とても人間業ぢやアごわせんや。こゝでもう一杯ウンと先生に磨きをつけて頂けば、免許皆傳は目のあたり ささア。是非おやんなすつてお見んなせえ』

『いろ／＼御心配下さいまして何ともお禮の申上げやうがございません。手傷は受けましたやうなものゝ、あれだけの強敵を討止めましたのは、全く先生御後見のお蔭でございます。なか／＼私一人の働きではございません。殿公より例へ何と仰せがありませうとも、暫く御辭退申上げ是非ともこの上の御教導をお願ひ申す心得でございます。就てはその前に一度仙台に立歸り亡き父の墓に詣り、また親族に預けてある母の安否も尋ねたく存じますれば、その間だけお暇を頂き度く存じます』

『うむ如何にも道理の次第、然らば傷養生を第一として、一日も早く歸國いたすがよからう』

平内は快く歸國を許した。金彌は天にも昇る心地であつた。仇討本懐を父に知らせることが出來る。然もその上平内から免許皆傳を受けることが既に約束済みだ。歸參は臨時至快次第といふ仙台侯からの御沙汰もあつて、既に幸福の洪水に出逢つたやうなものだ。

それにも増して江戸の人氣は素晴らしいものであつた。

何しろ天下の大名人と云はれる平内でさへ持余した鶴の藤浪律崎兵庫を、まだ十六歳の小腕で討取つたといふのだから、瓦版には刷られる、一枚繪にしては賣りひろめられる、寄ると觸るとこの話だ。

からなると仙台侯からは度々見舞の使者が遣はされ、また手當を下され、手傷全快次第目通りをせよといふ上意であつた。

金彌の傷も意外に早く癒えて、もう昨今では歩くことが出來るやうになつた。

そこで金彌は大いに喜び、平内、長兵衛、お里、おふみにも厚く禮を述べ、

『私が斯様に早く全快したのも、皆様方々のお情けでございまして實以てお禮は言葉に盡されませぬ』

『いや／＼これ其方の武運芽出度きためである。そのやうに禮をいふには及ばぬ』

『金彌さん、まア早く直つて結構でございましたね。女の口から申しては出過ぎたやうでございますが、あゝやつて毎日のお使者、仙台様へお目通りをなすつたら……』

『はい、私もそのつもりで居ります』

皇紀二千五百九十七年 昭和十二年四月八日 京城日報 (日刊) 第一萬五百五十八號
京城日報
モダン日本
定價三十錢
五月號
勇力は奥様かばかりの座談會
敵か味方か
東京は怖い
小說 花々の下 高見順
探偵小說 風見鷄の下 横溝正史
ユーモア小說 あゝそれなのに 古川緑波
戀はボスオツがら
佐藤外相と軍部
記者競演探訪記
歐洲の興亡と六百億萬圓
東京オリムピックはどうなる？
王子製紙はどの位儲けてみるか？
春の野球展望
日本ダアビイの榮冠はどの馬か？
春宵なやまし會
ピクニック好適地
モダン日本社
藥 卸問屋
株式會社 新井藥房
商業登記公告
法人登記公告
出た
キング大評判
いよいよ
キング一冊、値打萬金!!
娯樂 修養 出世 幸福 金儲け 希望 趣味 知識 常識
あなたがお望みの名讀物が何でもある賑やかさ！
キングは讀まねば御損の雜誌、安い、家中で樂しめる大雜誌!!
五月號
滑稽小說 三大傑作
傑作讀切小說
愉快 焼芋とお嬢さん 日吉
明朗 母と女秘書 早苗
滑稽 もう二人のあなた
魚河岸の男
南洋蘭とラヂオ
鮫鞘門太郎
父の遺書
一文字笠
江戸五人男
結城大藏大臣出世物語
軍事探偵 フオン・リン 大活躍物語
東京遊覧案内
三重苦の聖女
市坂中尉の奮戰實記
喜劇俳優ばかりの座談會
科學者の面白い話
相場道・處世道
大感動! 教育家美談集
女が最も尊く美しく見える時
六大學野球主將の語る一戰
小說なら面白いキング
現代の英雄 菊池寛
乳房祭 小島政二郎
薔薇競技 細田民樹
子育て文七 川口松太郎
呼子鳥 加藤武雄
武田菱捕物帳 神田越山
光の漣 久米正雄
青春オリンピック 中野實
大暗室 江戸川亂歩
藥罐 立川せん馬
曉は遠けれど 竹田敏彦
此の外名記事、口繪、漫畫、山の如し、大懸賞もあり
五十錢
大日本雄辯會講談社

家庭

近代女性の會話作法

一に艶と明るさ　話し上手より聞き上手

……『靜の美から動の美へ……』更に完成された美への道程には これも又大切……

……先づ表情ですが、如何に表情美とは言へ、まるでスクリーンから拔け出たやうな表情は興ざめものになりません、その時の雰圍氣より行き過ぎもせず、届かなくもないと言ふ所謂適度な表情、均勢の取れた表情を良しとします、と言ふ意味で鏡に向つて研究をなさつてごらんなさい

……目、口、顏等々が非言葉を表現するに最も適してゐますが、喜ばしい話をする時肝腎なあなたの顏が輝きを失つてゐやしませんか

× × ×

聲の場合に於ても又然りで、その内容にマッチした聲の表情が欲しいものです、音樂的に美しい聲が必ずしもよき聲の表情とは言へません、唄ふ聲と話す聲は自ら分れるものです

頭のてつぺんから聲を出さぬ事（黄色い聲）唇の先から出さぬ事（呟き聲）鼻から出さぬ事（鼻聲）何時も正當な喉から出す事です

語尾を明瞭に、惡い聲なら惡いなりに艶を持たせて

……そして、相手の眼を見る事、俯向いて話す事はかへつて相手に禮を失する事になります

最も氣をつけて頂き度い事は、自分の話す事を急にして、相手の言ふ事をおろそかに聞くといふ事で、話上手より聞上手といふのが會話作法の第一課でせう、最後にその時の感情、思想を表現するにはどういふ言葉が最も正確で美しく、効果があるかと言ふ事を心掛けて置くべきです、で、始終豊富な語彙を持ち合してゐらつしやる事も亦肝要と申されませう（駒井玲子氏）

チントンタロウ（四十八）　野本千一案並

1

ナニヲカナシンデイルノ

ボクツマラナイナア

2

ドウシタライイ

ボクニナマヘヲツケテクダサイ

3

京城日報漫畫係ニドウカナマヘヲオクツテクダサイ

ソレカラチントンタロウサンニオタヨリヲクダサイ

衣類を新聞紙に包むとき

冬物を藏ふ場合、防蟲の點からあるので、この頃は誰方も衣類を新聞に包んでお藏ひになりますが、新聞紙でぢかに包むと印刷のインクや藥品のため薄色の衣服など汚點をつけたりすることがありますから、必ず避けねばなりません、先づ白い紙か布で包んでから、外包みとして新聞紙を用ひれば最も安心です

家庭經濟　あれやこれやの座談會

調理の無駄はどこ　買ひだめの失敗　いはゆる買上手　⑥

記者 お料理の専門家佐藤さん如何でせう九圓五十錢で？

佐藤 さうですな家族の人數にもよりますが、田舎ではそんなに要らんと思ひます、田舎は何かたに較べるともつと安くて上るでせう

花村 これは都會を標準と致しての計數でございます

佐藤 あゝさうですか、それでは私の只今申しましたことは取消すことゝ致しまして、無駄の無い調理を致しましたなら其程度で立派に出來ると思ひます、もつと安く出來るかも知れんこゝでまア假に鷄を一羽買ふと致しましても これをうまく料理すれば三回分か四回分の料理が出來る、これに大根の皮を刺身のケンに菜ッ葉の切端をツマにしまする と捨てるものなど殆ど無い、ハッパなども外側は捨てる所を鹽もみにすればお漬物の代りになる、さうして愈々落れて駄目の所は鷄にやればいゝ飼料になる、それから魚の腸わたやオサではソップをたく、さうして殘つた骨は焼いて粉にし石灰の入らぬ麩を混ぜると鷄の最上等の飼料になる、私の實驗しました所では六人ぐらゐの家族ならば七、八羽の鷄は十分に飼へるのですな、そしてこの鷄の産卵率は誠に宜しい

記者 無駄のない調理も必要だが、『買ひ方』上手といふことも、お臺所經濟に影響がありますね、この『買ひ方上手』について少しお話し下さいませんか

佐藤 そりや物賣りを相手ならば二、三回は必ずゴギつてみることですな（笑聲）

記者 その邊はどなたでもおやりになつてることと思ひますから まア値切るにしてもそのコツですな、これは私の又聞きですが魚を買ふのに初めて庖丁を入れないやうに心がけるといふことでありま す、どうしても最初に庖丁を入れると値が高いさうで

赤尾 買上手といつたことで私一つ聞いてゐるのですが、それは『物のシュンを知る』こと、魚でも野菜でも出盛りのものが味も宜しく、從つて榮養分にも富んでをり、又値段も安い、冬分に夏のものを食べるとうまいには違ひないでせうがシュンに較べては落ちるし値段もベラボーに高い

原 私は雜誌か何かで讀んだのでございますが、買物上手の秘訣として『物のハシリを買はぬこと』と『買ひおきをせぬこと』が大切ださうです、珍しいものなどなるべく進んで買はないやうに致します、それから買おきは安いときなどよささうでございますが、品物が澤山ございますと、どうしても氣が弛みまして無駄つかひし易いやうですね

杉田 値段を知ること、物の眞價をよく／＼知つておくといふことは必要ですね

尾長 左樣でございます、野菜賣りの支那人なども市場で仕入れる所を見ておきまして値段を覺えてゐて買ひますと、ギリ／＼の所までまけます

佐藤 さう／＼、それは本當だ

記者 尾長さんは市場に御自分でいつも行かれるのですか？

尾長 ハア、一度さういふお話を承りましたので、知合ひの方に南大門の市場に朝早くつれて行つて頂きせつてる所を見せて貰ひましたが、ずゐ分參考になりました

佐藤 魚、野菜などは朝市買ふのと夕方買ふのとでは大ぶ値段が違ふ、商人には荷を殘さぬことが商賣上手の一つとなつてゐるので、賣りあぶれることを恐れて、夕方になると少々の所ならば値段をしても賣り捌いて了はうとするので、どうしても安くなる、秘訣といひますか輿するにあせらずにゆつくり買ふことですな、商人の素振をじつと見てゐるとこれは賣りたがつてゐるかどうか直ぐ判るものです

記者 どなたか買ひだめをして失敗なさつた御經驗はありませんか？

奥村 大いにありますね、燃料などは澤山買ひ入れておくとどうしても必要以上にたきすぎる、それで私は一週間買ふ所は半端といつた風に小刻みに買ふことにしてをります

訂正 昨日の座談會記事の見出しに、會費九圓餘とあるは食費の誤植です

厄介な黄八丈

着付けの調和を誤つたら　あなたを漫畫の種にする

□□洋裝に和裝に古典の蘇つて來た此頃、一寸忘れられてしまつてゐた黄八丈が大歡迎へられて來ましたが、この黄八丈と言ふのはなかなか厄介な代物で、髮、化粧、他の服飾品との調和が相當面倒臭く、うつかりすると貴女を漫畫のヒロインに仕立てあげてしまひます

□□大體黄八丈と言ふのは粋なものので、それをパーマネントの近代女性にうまく調和させたところに清新な近代美があるのです

□□先づお化粧は控へ目に、色調の濃いこの着物はどつちにしろ顏が負けてしまふのですから最初から背水の陣を布いて、ほんのりと浮き出たやうにもなさり、反對に髮はどんな髮形にしろ油を充分つけて所謂ぬば玉のやうに光らせ、挿し物はせい／＼鼈甲細工止りで花簪等は禁物です

□□お着付はゴハ／＼したものですから、セルの着付の心地でなければ間違ひありません、昔から『黄八丈には黒づくめ』と言はれてゐるやうになんと言つても黒の配色が第一です

□□帶は黒繻子か純白、帶も極く若い人には白地の柄物それ以外はやはり黒繻子で羽織はなによりも黒が一番よく、若向きには花紫等もよろしいでせう、帶留、草履、ハンドバッグ等こまん／＼した服飾品もそれ等に近い色がふさはしく色に他のもので落着きを見せるやうに致します

× × ×（山野千枝子氏）

當代一流　爭覇血戰譜

香落　△六段 平野信助　▲四段 島村増喜

第三局

圖は▲五八金右迄の局面

△七二銀 1　▲五六歩 10　△五一角 13　▲四七銀 7　△三四飛 9　▲三八飛　△三三桂 21　▲三六歩　△二五桂　▲三五歩　△二四飛

「駒持」△平野氏 なし

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	v香	v桂	v銀	v金		v金		v桂	
二		v玉					v飛		
三		v歩	v歩	v歩	v歩	v銀	v角	v歩	v歩
四	v歩					v歩			
五							v歩	歩	歩
六	歩		歩			歩			
七		歩		歩	歩		歩		
八		角	玉		金	銀		飛	
九	香	桂	銀	金				桂	香

「駒持」▲島村氏 なし

持時間各七時間　累計 △平野氏 一時間四分　▲島村氏 二十八分

觀戰記

下手の好手三八飛　平野氏苦吟の三三桂

六段 飯塚勘一郎

前回平野氏の八二玉に依つて、局面は早やくも決戰模樣を生じた、此の折柄上手七二銀の締まりに對する、島村氏の五六歩はどうか？直ちに四五歩と仕掛け、同歩なら二四歩、同歩、三二角成、同飛、一二角と打つて、下手指し易かつたであらう、又四五同歩の時、二二飛なら、四四歩、三四銀、二四歩、同歩、同飛、一四歩、同歩、同香、五二金左、一八飛と振つて下手優勢であつたら、五六歩に稍々自重し過ぎた傾向があるやうだ、上手の五一角は四三銀と立ち、八二玉と寄つた時からの既定戰であつて、その構想に「五一角の處で三四銀とよれば四四歩だが、此の指し方でも充分指せさうに思つた」と洩らしてゐる、これは即ち下手の綴手五六歩を捉らへて、次ぎに三四飛と浮飛車の理想陣に組まうとする作戰である、下手が此處四五歩なら、同歩、一四角成、三一金、一四歩、同歩、同香の時、三三角と捌く所存であらう

これに對する下手次ぎの四七銀は以下指し手の如く、敵の浮飛車を牽制、逆襲しやうとする手段であるが、上手が三六歩の逆襲を嫌つて、七四歩と突いても、三六歩、同歩、同銀と捌き、その時七三角なら四七金と盛り上つてよい

上手やむない　三四飛

平野氏は敵に三八飛と好手を打たれて、流石にハッとしたらしく、それでも極力動搖の色を押し隠し「仕方がない」と呟き乍ら、三四飛と決定の行動を取る、然し三三桂の處では、餘程困惑の體で、苦慮まさに二十一分、決斷の色を眉宇に漂して漸く此の一手を下した、此際他に上手が二四歩と突く手もあるけれど、三六歩、二五歩、三五歩、二四飛、一八飛、二六歩、三六銀と指されると、次ぎに下手より二五歩と打たれ、二二飛の時、二六飛と折角の歩を只取りされるのが辛いから、多少無理筋でも上手の三三桂は、蓋し止むを得なかつたであらう

下手三六歩は豫定、續いて上手の二四飛迄絶對的の兩關であるが、下手敵の二四飛に對し、次ぎにどう指すか？中盤の重要な切所である丈けに愼重な考慮を要する處である

春の速度は日に二十キロ

廿五六日頃が元山の滿開

【元山】南鮮方面から櫻の便りしきりなる折柄、元山觀光協會では府廳前の櫻に數百のボンボリやアークで照明し夜櫻の下に舞臺を設け妍を競ふ美妓の手踊りを配し雅上花を添へようとの計畫を進めてゐるが本年の開花は何日頃か？元山測候所に聞ひをたてる…と次の御託宣

開花は廿日、滿開は五日後の廿五、六日頃、日本の南北兩端の開花期日の相違は大體四十日、一日平均二十キロの速度で北進し釜山の櫻が開いてから約廿日後に元山の櫻が咲き始める、京城に比べて毎年四、五日遲れてゐる

舞台は躍進北鮮 兩雄一騎打の場

長津江水電と北鮮製紙が

南大川を繞つて啀み合ひ

【咸興】片や赴戰江水電建設の前提として端豐鐵道の敷設を急ぐ長津江水電、こなた今月下旬から豐山郡天南面の密林を伐採流筏する北鮮製紙化學工業……この兩社はいづれも端川南大川を利用せねばならぬため昭和十一年九月中旬『南大川流筏水路施設並に流筏障害物除去に關する協定』を遂げてゐるが廿九日附北鮮製紙端川分廠は南大川上流十九ヶ所の橋梁は橋脚を高く脚間を廣く架設して流筏に支障なきを期してゐた處が何時の間にか水電が脚を低く脚間を狹く改築してゐる、これがため四月末からの流筏に大支障を來すから即時原形に復せとの抗議書を協定當時の立會者たる本府山林課長、咸南知事、端川警察署長や相手方の長津江水電久保田常務宛に提出した、舞臺は躍進北鮮、雙方共に國策工業の開拓陣かしい化學工業界の兩雄である、この一幕いかなる場面を展開するか？一般からも頗る注目されてゐる

（前略）込みは八十六件、內檢査不合格あるもの六件で昨年の百六十九件に比べ著しく減少した

東洋一の第二船渠

締切堤近く完成

これで滿潮も完全に防止し

內廓の本格的工事

【仁川】東洋一を誇る仁川港第二船渠工事は十二年度は基礎的工事を完了、外廓締切堤は殘四分で出來あがりこれが完成すれば船渠となる內廓に潮が浸入しないのでいよいよ本格的工事に着手することになる締切堤は干潮面十米で完全に滿潮をも防止することが出來、目下每日人夫一千五百名を動員しスピード工事を行つてゐる、一方明年度から着手する本工事の實施計畫を樹立中で諸般の調査も進めてをり、閘門、沙島の二箇の根が船渠となる內廓にまではり出してゐるため岩盤の力を鞏固なものとし漲向きである、船渠のポイントをなす閘門工事は既に第一船渠の閘門で試驗濟みであり技術上何等至難な點はないがなんといつても閘門は船渠の生命線であるため設計も愼重を要し工事期間の如きも外濠並岩盤を完成するだけの時日が必要で工費も全工費の約三割、二百七十萬圓程度を投ぜねばならぬ模樣である、而して現在の計畫では八千トン級三隻、三千トン級二隻を一時にドツト横着けし得るやうにし、また一案としては八千トン級五隻を横着けの計畫も考究されてゐる

清州の町名

邑區域擴張に伴ひ

新たに道令で告示

【清州】三月二十六日附總督府令で一日から實施された邑の區域擴張に伴ひ新編入區域の町名を左の通り決定、道令をもつて告示された

▲南山町＝新編入の山北里▲南川町＝從來の南川町と新編入の彎興里の一部▲和泉町＝從來の和泉町と新編入の司倉里の一部▲雲泉町＝新編入雲泉里と新鳳里の一部▲外德町＝新編入外德里▲內德町＝新編入內德里と栗陽里の一部、斜川里の一部▲文東町＝新編入校東里と明岩里の一部、龍亭里の一部▲金川町＝新編入金川里▲永雲町＝新編入永雲里の一部

共同墓地で供養

【永同】面では四日正午から梓山里共同墓地で有志多數參列の下に共同供養を執行

新義州義州間

金を喰ふ 惡道路

排水溝改善 整備に努む

【新義州】定期自動車の立往生まで演じた新義州義州間の道路は經濟道路として重要であるのみならず日清、日露戰役の戰蹟地として朝鮮八景の一たる統軍亭をもち交通量も相當に多いが解氷期になるとひどい惡道路を現出して折角多額の金を投じて埋めた砂利も何の効果もないので杉山土木課長が現場を踏査した結果、惡道路となるのは當然、砂利を敷いても肝心要めの排水を全く棄てゝ顧ないといふ路面改修の基本的缺陷が判明した、これでは折角の金も文字通り道に棄てるに等しいので道では直ちに道路兩側の排水改善に乘り出し新義州、義州間の道路整備に萬全を期することになつた

電話申込み減る

【水原】郵便局管內の特設電話申（以下略）

松峴普校 初代校長

元仁商校長 向井氏就任

【仁川】內鮮融和の教育道場として來る十一日晴れの開校式を擧行する松峴普通學校はさきに仁川初巡廻の南總督を痛く感動させ『府民は精神的援助をおしむな』と同校の前途を祝福したが、その學校の初代校長となる向井嚴一氏（五七）は東京高商の教職を辭し明治四十三年渡鮮、仁成所を卒業し久留米商業の教諭をふり出しに明治四十三年渡鮮、仁商の前身實業學校の教壇にたち、昭和八年三月勇退するまで中等教育界のため一身を捧げその功績も多く高等官三等、元仁商校長の堂々たる閲歷をもつ老教育者である

松峴校の校長には人格、識見卓拔の人を求めねばならぬ、しかも內鮮融和の徹底した教育者でなければならぬといふので各方面に適任者を物色したがいづれも難色があつて決定しなかつたところ朝鮮人方面で向井氏を敬慕する聲が高かつたので永井府尹、吉田秀次郞、金允福兩氏は向井氏に就任を懇請したものであつた、かつては仁商の校長として半島教育界に知られ今は各種の公職につき社會的地位絕大な向井氏は熟慮の結果、閑雲散歩の一切をかなぐり捨て一私立普通學校の校長となることを快諾した、まさに朝鮮一の普通學校長であらう——『學校における教育も大切であるが、松峴校附近の朝鮮人部落の社會教化これが重要なことである、學校の門戶を開放して朝鮮人の教化、これを後半生の事業としてやつてみたい』向井校長の教育方針は學校から家庭へ延長する道六なものである（寫眞は向井嚴一氏）

原木爭奪の三巴戰

鴨江木組調停に乘り出し

鮮內一元化の準備

【新義州】國境安東兩都市に最盛の春をもたらす初筏は二十日頃新義州に到着することになつたが、初筏の殺到を前にして早くも資材難による原木の高騰、殊に物價高に拍車を加へられた原木の昂騰が業者間の問題となり例年のことながら製材、原木、問屋の三者三巴を描いて原木爭奪、高騰阻止の木都に芳しからざる激戰を展開してゐるのでこの險惡なる空氣を察知した鴨綠江木材產業組合では前記三者間の一致せる妥協點を見出すべく目下生產數の調査を進めてゐる、具體案の完成とともに近く新材の建値協議會を開催して一致點を見出さんとするもので、成功の曉は鴨綠江材の鮮內一元化實現とゝもに漸次市場衰退されてゐた鴨綠江材、殊に新義州木材業者の販路擴張に多大の効果を齎すものと期待されてゐる

松峴町市場の振興策

【仁川】北部の繁榮を策するため府が開いた松峴町公設市場は顧客が少ないため營業不振で衰微の模樣があり、府勸業係ではこれが振興の一策として府內の各官公署、銀行會社の購買組合と提携し市場の利用を旺盛ならしめるべく計畫中で、これには保證制度を設ける筈

鑛業取締り

忠北の新方針

【清州】從來忠北道警察局では鑛山の取締りは鑛業令とこれが關係法規によつて施行してきたが最近產金熱の勃興に伴ひ山野が次第に荒らされてゆくので國土保安の見地から今後は河川令と森林令をも適用し亂雜な開鑿を嚴重取締るやう各郡守、警察署長、土木管區主事宛依命通牒を發した

大邱の市街地計畫

道路總面積千三百五十萬坪

先づ區劃整理斷行

【大邱】市街地計畫及び土地區劃整理は五月一日施行するがこれが關係區面は達北面、城北、達西面、壽城の各面事務所に備付け一般の縱覽に供する筈

大邱市街地計畫は大邱府一圓達城郡城北面內山格洞（一部）站山洞、達西面のうち助也洞（一部）院垈洞、飛山洞、坪里洞、內塘洞（一部）、甲岩洞（一部）壽城面の內新岩洞、新川洞、孝睦洞（一部）晩村洞（一部）、泛魚洞（一部）下洞中洞、黃青洞（一部）池山洞（一部）斗山洞、上洞、壽德洞、大明洞

なほ同計畫街路は一街路の等級幅員は次の標準によるもので、すなはち大路第一類三四米以上、第二二八米以上、中路第一二〇米以上第二、一五米以上、第三、一二米以上小路一二米以下これによる大邱の總面積は四千四百七十五萬八千平方米で坪數にして一千三百五十三萬九千三百坪である

警察部長の殺人未遂

富岡局長危ふく命拾ひの卷

咸興のお歷々が遠乘り異聞

【咸興】遠乘異聞、警察部長の殺人未遂（？）騷ぎ……三日神武天皇祭の祝日に郊外歸州寺に遠乘を企てた咸興乘馬俱樂部の御歷々は佐々木內務、吉良警察の兩部長に奧地方、牧山學務、上野無務、軍保安の各課長、富岡郵便局長といつた面々

◇……平凡な平素の遠乘コースでは興味がないと騎前の櫻はいざ知らねど心臟には毛が生え角が生えた一味徒黨、定和橋から右折して春いまだ淺き定和嶺山の尾根傳ひに歸州寺を目指したものである

先頭吉良、二陣富岡……

◇……とある崖に沿ふて、急勾配を過ぐれば萬松の谷水を包む盤路は四十五度の急傾斜の崖角を橫に騎コースとなる

◇……先頭吉良〝危い…凍つてるゾ〟の聲が終らぬ中に〝アッ〟と振りさけみれば富岡郵便局長この急勾配を馬もろ共ズルズル……『しまつた木に摑れ』に無我夢中、小松を引つ摑んだ富岡さんの股下から馬はなほも走る

◇……無神經遠乘祖の總下馬富岡さんが引ける、松の小藪にもがく馬を引起す、起きた馬がまた辷る、二、三度くり返す裡に急勾配を下向となつた馬はクルクル廻轉しながら遂に谷底へ……

◇……それでも幸運に富岡さんも乘馬も大した負傷はなかつたが前途を諦めて引馬の歸途〝殺人未遂〟の張本警察部長は即刻深甚なる謝罪の方法を講ずべし〟と判決せられて一同加支川へ

坡州の種痘

【汶山】坡州署では春季種痘を左の日割で施行

大同鐵橋架替へ

豫算四百萬圓三ヶ年繼續

廢橋の利用法も種々考究

今秋着工に本決り

【平壤】京義本線の大同江鐵橋は日露戰役當時軍用鐵道用として架橋されたものでその後今日までそのまゝ使用されて來たものであるが、最近國際幹線のスピードアップと運轉回數の增加により將來過重負擔が懸念されるので、鐵道局では愈よ本秋から新たに大同鐵橋の架設をすることに決定し設計にかゝつたが、豫算は約四百萬圓で三ヶ年繼續事業である、なほこの新橋の竣工は十五年春頃と觀測されてゐるが、舊橋の利用については種々の案があるので研究中である

清州も施行

【清州】邑內各地に麻疹がぽつぽつ發生してゐるので邑では昨年六月まで施行して來た春期種痘を今年は特に早め八日は內地人、九十兩日は朝鮮人の日割で施行することになつた

仁川土木出張所改稱

【仁川】從來仁川土木出張所は仁川港の修築と京仁國道改修をも管下としてゐたが、仁川土木出張所は廢止されて內務局直轄から京城土木出張所の管下へ移され、『仁川港修築事務所』と改稱した、しかし陣容には一切變更なく福井所長がそのまゝ事務所長となつた

清州の石橋町普校

十一日開校式

【清州】新設の石橋町公普校は去る三月二十八日附で設置認可になり、既に新入兒童二百十名の募集を終へ開校準備中であつたが來る十一日午前十時から榮町普校を假校舍として開校式と入學式を擧行することになつた

慶南の海苔

減產の豫想に反し

前年より四割增產

【釜山】暖氣續きのため作柄を悲觀されてゐた慶南海苔養殖は當初の見込みは二割減であつたが、昨年末から三月末までの出廻りは左記の如く廿五萬千七百四十一圓に達し四月末までには三萬圓の出廻を來すものとみられ、前年の廿二萬五千圓に比して四割の增產を見込まれてゐる、三月末の數字を示せば次の通りである

▲洛東江四九、三四九束、價格六三、三八二圓▲鳴旨五、七〇五束、六、三三四圓▲多大浦三三二束、三、〇三二圓▲東向（改良）一九四、〇二六束、一二七、六〇四圓▲河東（在來）一三四、九八四束、五二、三三七圓

千七百名一齊增給

利原鐵山の鑛夫に朗報

【咸興】躍る鑛に微笑む勞働群……咸南利原鐵山は創業以來二十一年の歷史を有し只さへ景氣すこぶる良好な處へ最近は軍需インフレに鐵價騰、いやでも活況が湧かずにはをられぬ、即ち從來の本山、西山の外に昨年十月から東山、四山の二山が採掘を開始し目下勞働者千七百名を使役して每日八百噸を仕掘してゐるが昂騰また昂騰する物價は著しく勞働者の生活を脅威し初めたので高畝礦山側で種々協議の結果、去る三月十六日から日給五錢增給を斷行した、年額三萬一千餘圓の果敢な溫情で同社全從業員には明笑の渦が湧きたつてゐる

貨客の激增は驚くばかり

城津驛改築の要望

ますます高くなる

【城津】伸びゆく城津の玄關としての役割を擔當する城津驛は增築に增築を重ねてもなほ狹隘と告げ旅客の不自由ばかりでなく貨物の殺到に惱まされてゐる實情にあるのでさきに城津商工會では當局に陳情書を提出し改築を要望したが最近は府當局も更に強くこの惱みは一層深刻化したので同驛の改築促進の輿論が翕然として起すべきであるとの輿論が沸騰しつゝありその成行きを注目されてゐる

なほ城津驛の乘降客は昭和九年度二十五萬四千二百五十三人が十年度には三十二萬四千六百九十一人、十一年度は二月末で四十二萬六千二十一人、又一方貨物は九年度十四萬三千百六十五噸が十年度二十萬五千八十三噸、十一年度は二月末で三十七萬六千七百十六噸といふ何れも驚異的の激增を示してゐる

沃川の煙草賣上げ

【永同】沃川煙草販賣所の十一年度中の販賣代金は六萬九千百八十八圓に達し前年に比し一千四百八十七圓の增加で管內人口との比は一人當り一圓二十六錢五厘の喫煙額に上つた、なほ三月中の同販賣所の賣上高は五千七百餘圓で素晴らしい好成績である

忠北辭令（五日附）

忠北道囑託 金 璧 律

願に依り囑託を解く

おめでた

【江華】郡內河岾面有志朴運緒氏二女順玉孃（二〇）は仁川の中務內君と婚約整ひ二日京城で華燭の典を擧げ食道園で披露宴を張つた

人の動き

▲高周政氏（坡州郡屬）利川郡に榮轉挨拶のため四日本社汶山支局來訪

▲鄭平九氏（汶山公普校訓導）新任挨拶のため五日同上

▲何榮滋氏（元漢山面易校訓導）交河公普校に榮轉

迷子の郵便

平壤遞信分掌局に

一萬數千通山積み

【平壤】受取人に配達出來ず又差出人に返附も出來ない迷子郵便となつて平壤遞信分掌局に集まつたものが十一年度中に通常郵便一萬二千三百四通、書留八十通、小包廿六個もあり、この中種々の方法を講じて調査した結果漸く差出人に返附の出來たものが通常郵便三百十三通、書留廿通、小包一個でその他は同局の保管室に山と積まれてゐる、この迷子郵便の有價物は一ヶ年、無價物は三ケ月間保管しおきその期間を經過したものはそれぞれ相當處分することになつてゐるから心當りのものは直接同局へ申出られたいと、なほ現在保管中のものは通常郵便一萬一千九百九十一通、書留六十通小包廿五個である

農業指導陣

すべて國策基調へ旋回

【大邱】準戰時狀態を反映して最近慶北の農業部門の指導陣は總て國策的見地から行はれるやうになり、すなはち過去數年間における慶北の農業部門は國策に順應して小麥の栽培獎勵、棉作の擴充、畜產部門にあつては羊毛國策に順應し緬羊、アンゴラ兎の飼育、更に十二年度からは燃料國策による甘藷、馬鈴薯の栽培獎勵等一つとして國策を反映しないものはないので農業指導にも從來の方針の變更は必然の成行きとされてゐる

シネマと演劇

▲飄館【仁川】六日より三日間但日晝夜二回上映▲新興キネマ大泉作全發聲、原作中野實脚色如月敏、監督曾根千晴、現代劇『脫線令孃』立松晃、霧立のぼる、田中春男、吉川含美、風山くみ子、大友壯之介、歌川八重子、ジョーオハラ共演▲新興キネマ京都特作全發聲原案脚色脚本部合作、監督山內英三時代劇『兒雷也』（前後篇）大谷日出夫、市川男女之助、芝田新、葛木香、鈴木澄子、高島因子、嵐德三郎共演、▲ユニバーサル超特作日本版、海洋大猛闘活劇『ジャバの東』ジョージメルホード監督チャールスビックフォード主演

創立明治參拾貳年
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 朴榮喆
專務取締役 堀正一
支店 京城南大門、同鐘路、同東大門、同本町二丁目、同本町四丁目
麗山、仁川、平澤、利川、清州、群山、全州、裡里、長興、康津、三千浦、統營、馬山、鎭海、釜山本町、同牧ノ島、同富平町
出張所 府山、方魚津、元山、永興、咸興、端川、吉州、羅南、淸津、會寧
沙里院、載寧、信川、平壤、同東大門、鎭南浦、定州、新義州
パピリオ
舶來ばかりを、ずっと使ってらした方に、比べてほしいのです。
新發賣粉白粉十二色 六十錢
あでやかさの滴る おぐし!
毛根の毛質のって むつかしい宣傳の文句を並べなくてもサ しつれい キンツル仕込みのお髮のつやは斯うなの……
髮を育てる(純植物性)
金鶴香油
キンツル
本舖 株式會社 野村商店
衰弱に
參茸トニク
CHINNO HATA
受驗の勉強中頭のボンヤリ
過激な仕事で頭の疲れた時
子供の齒痛には一度でピッタリ
二日醉睡眠不足で頭の重い時
頭がガンガン痛い時
一服明朗
腦神經專門薬 チンノー
多年の臨床實驗に效力ありとの確信を以つて創製したる一歩進んだ腦神經專門藥であります
チンノー一日一服の服用は頭腦に榮養と活力を與へ連用するも胃腸の障害なく安全です
各地藥店にあります
歯磨スモカ
コバタのみの
ホホウ姿られたのは煙草さスモカ…フフウ手拔かりのない人物じやのう
齒磨化粧品 藥店ニアリ 定價十五錢
ウテナ バニシングクリーム (雪印)
颯爽と若肌に 春のひかりを浴びて
先づお肌を美しく整へませう!
春の空氣は非常に乾いて埃りが多く、その上お肌は脂肪の分泌が旺盛になる季節ですからお肌のお手入れが不充分ですとニキビ・吹出物が出來たり、汗や脂肪でお化粧が崩れたり致します。朝夕の洗顔後やお化粧前にウテナバニシングクリームでお肌を充分に整へて下さい。無脂肪純質の整肌クリームですから、サラリとお肌に心快くノビて肌理を細かく締ひ、皮脂を適當に調節すると同時に惡質の色素を解消、皮膚に彈力を與へて素晴しく滑らかな化粧ノリの良い若肌を育くみます……又、殿方のヒゲ剃り後の荒れ止にも快適です。
お化粧メモ
お化粧前にウテナバニシングをお顔につけてから蒸しタオルで輕く拭き取つて下さい。そして又バニシングを下地にしてお化粧しますと粉が良く肌に落着きます
汗にも脂肪にも 崩れぬ春の淡化粧
先づウテナクレンジングクリームでお肌を完全に清掃してからウテナバニシングクリームにウテナ粉白粉のお肌に適つた色調を混ぜてつけていたゞきます。次にその上へもう一度、少量の粉をパフで輕く叩き込んで最後にウテナ化粧水で輕く押へていたゞきますと、粉がお肌にシックリと落ち着いてお化粧崩れがせず、清楚な美しい淡化粧が出來ます……
これが理想的な粉白粉
1 微粒子に獨自の工夫がある……
2 ノビ・ツキが自然でムラが出來ない
3 吸着力が素晴しく化粧が永保ちする
4 色調は近代的な明朗色で立體的な化粧美を發揮し東洋人の肌に最も適ふ
ウテナ粉白粉
UTENA FACE POWDER
ウテナ化粧料本舖 株式會社 久保政吉商店

白き手の人々〔10〕

吉屋信子作　富永謙太郎繪

お庭拜見の日（一）

その日、翳水閣は朝から、庭先に打水をし、門から庭へ續く敷石の如きは、雜巾で一々庭師が拭くほどに綺麗に掃除をし上げて、網方は手落のないやうに、あちこちも眼の屆く限り歩き廻つてゐた。

既に昨夜の中から用意された門内の天幕の中には細長い卓が据ゑられ、翳水閣の案内圖と英文で書いた説明のパンフレットが高く積まれてゐた。英文のパンフレットは島の子に和服を、翳水閣の畠地圖を刷つたもので、その英文は

ザザーッと臺所の流しで水音をさせて簡單に顏を洗つて來た文吉がこの座にかまはず、昨夕着て脱つた儘ひつかけておいた制服を下して着かけると、母親が、

『文吉、お前そんな古い學生服はお止しよ、これが好いよ、外國の人は日本の着物を見るのが好きだつていふぢやないかえ、お邸でも奧様が今お着附の人をお呼びんなつて輸子様のお仕度をさせていらつしやるが、そりやもう眼が覺めるやうにお綺麗だ、やつぱりお洋服よりは日本の着物の方が好いね

『お母さん、何を言つてるんだい女の振袖姿なら搖籃、僕達が紺絣を着てまで毛唐の御機嫌をうかゞふ必要はないよ、日本の大學生が汚らしい擦り切れた制服を着て、せつせと頭でつかちの教育を詰め込まれてゐるのをお眼に掛けるのも日本の正しい認識になるよ』

と文吉はさつさと制服を着てしまつた。

『お前の難かしい議論は分らないけれど、いやだねえ、その服は、そんならせめてお母さんが昨夕の

内に畳んどいてやればよかつたよ』

おまつはかう言ひながら、古びた長火鉢の傍の茶袱臺の上の白い釜を取つて、アルミニュームの小鍋を火鉢にかけながら、

『文吉、直ぐに朝御飯食べておしまひよ、そしてなるべく早く表門の方へ出ておいでよ、いゝかい？』

と、てんてこ舞の氣ぜはしさで、さう言ひながら、又バタ／＼と出て行つた。

文吉は自分で御飯をよそつて、不味さうに口に入れながら、傍にあつた新聞を擴げると、その三面に、寫眞入りで例のアメリカ觀光團の婦人達が、日本の古着屋をひやかして、日本着物を澤山土産に買ひ込んだと報じた記事があつた

『フゝン』

と、文吉は輕く笑つた。

文吉が下宿をしたものだつた。

昨夕遲く彼等若い學生達のある進歩的な集合に出て夜ふけて歸つた文吉は、まだその裏門脇の小さい家に、眠りこけてゐた。朝早くから邸内へ行つてゐた母親のおまつが慌しく家の中に驅け込むやうにして入つて來ると、

『文吉や、文吉や』

と息子の枕許に來て搖り起した。

『お前、早く起きてお呉れよ、さつき旦那樣がね、文吉に受附へ行つてゐて貰ひたいつて仰有つたんだよ、御門の傍に天幕があるだらう、彼處にゐて、パンフレットを配つて分らない事は教へてあげるやうにつてね、お出入の人達は一杯詰めてゐるんだけど、英語の分るお前に一人元締にゐて呉れつて仰有るんだよ、早く支度をして出てお呉れ、こんな時にでも、少しでもお役に立たなくちや御恩の返しやうもないぢやないかえ』

文吉はその長々とくどきたてる母の言葉に何の返事もせず、たゞむつくりと起き上ると顏を洗ひに出て行つた。

おまつは簞笥の抽出から仕立下しの紺絣の文吉の給を出して、様紙をきゆつ／＼と拔きながら、口でその糸をくはへてゐる。

え、お優しくつて』

母は眞顏で言ひ立てる、文吉は思はず笑ひ出して、

ラヂオ

春宵賑やかに【八時】

大阪道頓堀より中繼

あしべ踊　花もやう

食滿南北・作詞

杵屋正一郎・鶴澤清造・望月朴清　作曲

出演　南地連中

▲第一　紅梅（大薩摩）その上の氏の爭ひ紅と眞白にわくる源平の競ふ繪花美しき

▲第二　白梅　▲第三　飛び梅（長唄）歌詞なし

▲第四　藤（長唄）多喜の浦、汀の藤の咲きしより浪の花さへ色に出てゆかり美し水の

上古歌にもまさる景色かな

▲第五　萩（長唄）　空も露つた倩白萩たがひの心露にぬれてや此小袖よりそふ狹絲萩の匂ひこぼるゝ風情なり音羽天郎二やざこばとはひれがあるとの響へからおまた吉彌によう似てじやいつそ二人は伏見堀轟の昔近く今宮の森もいつしかこがれてやがてはこゝに消ゆる身を露白萩の女夫繋ぎ話借みて

▲第六　百合（長唄）待つてこい──水をなぜ又あけた

今日の放送　八日（木）

第一放送

午前七時一分（東）朝の修養
同七時二〇分（東）講操
同七時四〇分　天氣見込
同九時二〇分　氣象通報
同九時五五分（東）衞生メモ
同一〇時三〇分（東）結婚についての法律（四）　三宅正太郎
正午（東）時報・外
午後零時五分（東）佛教音樂　合唱　佛教音樂協會合唱團　獨唱　榧　藤　園　立
花祭の歌▲二、獨唱　佛や必ずましまさん▲三、混聲合唱（イ）降誕會の歌（ロ）わが立つ杣▲四、齊唱付獨唱（イ）るんびに園の春（ロ）花祭などりの歌
同零時三〇分（東）國民歌謠　獨唱　横山郁子
同零時四〇分　ニュース
同一時一五分（朝鮮語・釜山）佛教の女性觀　金泰洽
同二時三〇分（東）婦人の時間　文學博士　鳥楠順次郎
同四時　ニュース（氣象通報・釜山）
同六時（京）物語　お釋迦さまの
同六時一〇分（東）コドモの新聞　京都花祭聯盟
同六時二五分（城）副業講座（第十四回）朝鮮の蠶種について　京畿道農會技師　林　唯熙
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時　ニュース・外
同七時三〇分（東）講演　昭和十二年度豫算の概要（二）　大藏次官　賀屋興宣
同八時（大）あしべ踊＝道頓堀角座より中繼＝花もやう・食滿南北作詞　出演　南地藝妓連中
同八時四〇分（城）映畫主題歌　伴奏　DKオーケストラ　一、平野聽子（イ）赤い翼（ロ）メリーウイドー（ハ）會議は踊る　二、山縣哲一（イ）川のほとり（ロ）碧空
同九時（東）管絃樂　日本放送交響樂團　指揮　大澤壽人　一、インヴェンション二、母の子守唄三、でだるま四、夜想曲、五、かくれんぼ六、銅鑼七、陽氣な小逕
同九時三〇分（東）時報・外
同一〇時　ニュース（朝鮮語・釜山）

第二放送

午後零時五分（東）佛教音樂
同一時一五分　婦人の時間　金泰洽
同六時　ハーモニカ　M・K・Mバンド
同六時三〇分　經濟解説　金敬注
同七時三〇分　婦人講座　李淑鍾
同八時　音樂　明星學校生徒
同八時三〇分　音律　李彦植
同九時　同小曲　金靜男

あすの聞き物　九日（金）

午前一〇時三〇分（城）婦人の時間　野の花に寄せて　水戸ふじみ
午後零時五分（東）筝曲
同二時三〇分（東）家庭講座　家庭婦人に必要な看護の知識　保良せき
同六時（東）お話　物の出來るまで（一）レコード
同六時二五分（仙）健康講座（山形縣、岩手縣、秋田縣）解説　後藤桃水
同七時三〇分（東、京）東西花めぐり（京都）
同九時（東）時事解説

佛教音樂

讃佛

三千とせの遠きむかしに、萬代ののちの後まで、かゞやかすひかりめぐみし、ほとけはや、ほとけたふとし、あなほとけ、ならびなくふかきなさけに、もろもろのなやみかさねて、あきらけきまことを指さし、ほとけはやほとけかしこし、あなほとけ（後略）

花祭の歌

大和島根に咲き出でし、花のさまざま積みそへて、今し莊へる花御堂、立たす佛の尊さよ　あれは三千歳そのかみに、天と地とをゆびさして、「我ぞこの世を救ふべき尊き聖」とあれましぬ（後略）

降誕會の歌

卯月八日卯月八日をたゝへん、この日ぞこの日御佛この土に、生れ給ひ、この日大地も動きぬ、大地動き天雨降り來てかしこし　その昔の藍毘尼の園思へや、生れ給ひ七歩歩みて獅子吼す、天の上下唯我獨尊蓮華は、御足のもとに開きてきよらに──（以下略）

▲第七　柳（義太夫）　大は大小は小括して使へあのゆりにかけて來い百合の花開いた眼もまだ開いた、滴水さんのお目々が開いたそこで山岡鐵舟さんも無の字が分つた／＼お目々が開いた

▲第八　柳（長唄）　たそや行燈のかげほのくらくかすかに見ゆる島の中お園はとつかはかけ戻るそれと見るより走り寄り氣に入らぬ風もあり絞り染め柳かしこい横秩水の流れのいつしかに私と同じ思ひ川鑾の絞りのお吉が立より挑燈とつてふ／＼と止めるお園を振り拂ひ酒に件根も亂れ燒思ひ残して今日もまた雲の行方を見届けよ浮名立つ日かしくのあだ染は枡子にのるかけ行燈の役のうはさとなりにけり

▲第九　蘭（長唄）　蘭はかほるよこゝ廓州の御旗立てませうお國を立てゝ踊り踊ろよお手拍子こゝの緣起朝日かざしてこんな氣強い日和は内地ゆかりませう

▲第十　さつき（長唄）　戀よ戀戀に生島大江戸のうはさに立つや旅姿こゝに佃の灯もおぼろよもの身がやどに船手繰りよせ花の江島か唐絲ならば手繰りよせ美し江島を捨てゝおぬし一人が行からとは放せとめたこの狹くさつりならぬ羅綱の千年の松の枯るゝともエエはなしやせぬ／＼舟は齒と

▲第十一　櫻（長唄）　櫻吹雪か道頓堀にあしべ踊りの花模様もしべ踊りの花模樣戀の浮名の南地花も競ふて咲き揃ふ咲き揃ふ